

が生ずる人数と負担総額は。

**A** 市長 人数は1、000人程度、負担額は確認していない。

**Q** 後期高齢者が医療差別を受けることになりかねないか。

**A** 市長 74歳までの方と変わらない医療が受けられるということで進んでいるので、信用していきたくない。

**Q** 現行制度にない高齢者の保険証取りあげなど冷酷なシステムになっているか。

**A** 市長 あくまでも制度面としての話だが、運用面でこうした措置が盛り込まれるのはやむを得ないと考えている。

**Q** 4月実施は中止すべきでは。

**A** 市長 制度がスタートするとうななかで、最大限住民の立場を守っていきけるよう頑張っていきたい。

●地域医療問題について

**Q** 「地域医療センター計画」に対する市長の是非の態度、真意は。

**A** 市長 「センター計画」はすでに決定事項だといふ郡内他市町に、従わざるをえない部分もある。しかし、現行計画は財政面でも実現性が乏しいと判断し対応している。

今、力を集中すべきは山武郡市で中核的な医療を担う成東病院の機能を最大限に回復することが私の使命だと考えている。

**Q** 「センター計画」の発端は県立成東病院の老朽化問題。廃止でなく、建てかえて存続すべきでは。

2次医療圏が山武・長生・夷隅に再編される。必要な救急医療部門は、建てかえる東金病院が長生病院に、県と関係郡市の協力で設置することが現実的な方法では。

**A** 市長 「センター計画」は、私が成東病院の発展型として考えたものに近く、方向性として全否定はしない。しかし、地域医療を守る立場からのしつかりした議論が必要。新病院建設ありきの議論になってはいけない。

個人質問

市川 陽子 議員

●高齢者福祉サービスについて

**Q** 本市も団塊の世代の方が高齢を迎えた時、安心して生活できる環境づくりが急務です。現在の65歳以上75歳未満、75歳以上高齢者の現状と地域での助け合い等の施策があるのか。

**A** 市長 住民参加型の家事支援サービス、福祉輸送サービス等などを実施している。今後も高齢者サービスの充実を図ります。保健福祉部長 社会福祉協議会に管理委託し、日常生活用具給付事業、ふれあいデイサービス等を行い、在宅福祉事業は早急に整理・統合したいと考えています。

**Q** 現在、65歳以上で、一人暮らしの高齢者の現状と対策及び緊急通報装置の進捗状況はどのようになっているのか。

**A** 市長 装置は、65歳以上の高齢者のみの世帯と65歳未満で身体障害者1、2級に該当する方のみで構

成された世帯に対して設置を行ってあります。また、民生児童委員さんの見守りも行っていきます。今年度末で253台、前年度と比較して8%増が見込まれます。それから通報装置の電波利用距離の件は、まだ検討中です。保健福祉部長 独居高齢者及び単身世帯が1、071軒、二人世帯は1、527軒です。

**Q** 身体障害者、知的障害者、精神障害者の方も新制度によって、共通のサービスを得られる事になりましたが現在の進捗状況はいかがでしょうか。

**A** 市長 地域生活支援事業は、県、市町村が地域の現状に合わせて、相談支援、コミュニケーション支援、移動支援、地域活動支援センター整備などを行っています。しかし、自立支援制度の中、個人負担が1割と施設入所区分4以上の方が厳しいと思います。

**Q** 視覚障害者の中で、中途障害者を含む情報

支援として、音声コードの確保や活字読み上げ装置を導入してはいかがでしょうか。

**A** 市長 情報をいただきたいので勉強させていただきます。

**Q** 環境問題について

●環境問題について

**Q** 山武市バイオマスタウン構想の進捗状況について

**A** 市長 現状は旧山武町が行っていたものがそのまま継続されている。18年度に市内のバイオマスの賦存量調査を行った。この結果を活用し、構想を市内全域に広めていきたいと考えている。今後は知識経験者や住民の方々による検討会を進め山武市バイオマスタウン構想の公表につなげていきたい。

**Q** バイオマス活用の方

**A** 市長 現在進行している事業は、サンブスギを使ったバイオプラスチックと、スギを炭にして継続